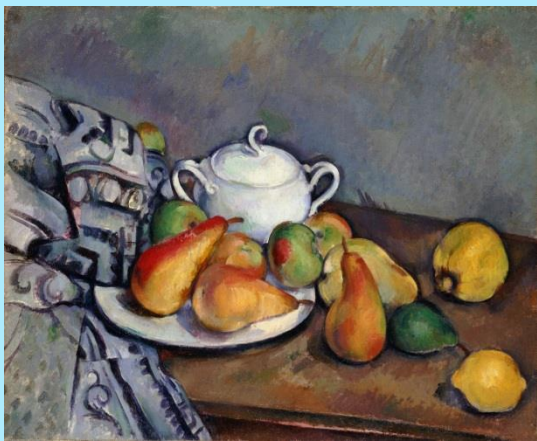


人気キュレーター林綾野さんによる名画への案内

セザンヌの描いた 南フランスの暮らしと絵

日時 5月30日(土) 13:30開場 14:00開演
場所 (公財)横須賀三浦教育会館 2階ホール

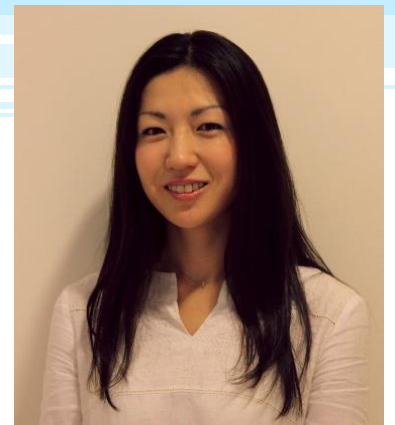


『砂糖壺、梨とテーブルクロス』
ポーラ美術館収蔵

9月27日まで、箱根ポーラ美術館ではセザンヌ展を開催しています。同館が所蔵する9点の作品と共に、国内に所蔵されているセザンヌの作品を並べ、この画家が「近代絵画の父」と呼ばれるようになったゆえんを紐解くという展覧会です。セザンヌの絵をまとめて見るこの出来るこの機会に、セザンヌの画家としての人生や故郷である南フランスでの暮らしぶりをたどります。南フランス、エクサンプロヴァンスに残るセザンヌの家やアトリエ、頻繁に描いたサントヴィクトワール山や石切り所など、画家に関わる写真も多数ご紹介。その絵が描かれた背景や、画家の気持ちに迫ります。近代絵画の父と呼ばれるようになったセザンヌの絵の楽しみ方、そしてその人となりや暮らしの様子を見つめることで、画家の存在をより身近に感じてみようというお話の会です。

林 綾野 (ハヤシアヤノ) プロフィール

神奈川県横浜市出身。キュレーター、アートライター、アートキッチン主催。美術館での展覧会企画、美術書の企画・執筆を手がける。新しい美術作品との出会いを提案するために画家の芸術性と合わせてその人柄や生活環境、食への趣向などを研究、紹介。これまでに手がけた展覧会『ピカソとクレーの生きた時代展』『フェルメールからのラブレター展』『熊谷守一展 画家がみつめた小さないのち 豊かなところ』『安野光雅 ヨーロッパ周遊旅行』など。主な著作『セザンヌの食卓』『ゴッホ旅とレシピ』『モネ庭とレシピ』(講談社)『画家のものがたり絵本 ぼくはクロード・モネ』『浮世絵に見る江戸の食卓』(美術出版社)など。月刊誌『Precious』(小学館)『InRed』(宝島社)にてアートページを連載中。



- ◆入場料 予約900円 当日1,000円 (先着100名)
 - ◆問合せ(予約) 教育会館事務局TEL046-824-0683
(月~金9:00~17:00)
- ※当日入場者に対し、抽選により10名の方にポーラ美術館の入場券(通常入場料1,800円)を進呈します。

主催：(公財)横須賀三浦教育会館

協力：(公財)ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

名画セミナー「情熱の画家ゴッホ」

感想(2014.9.27実施)

*先生のお話はその人となりをととても具体的に身近に感じられ大ファンになりました。今回のゴッホも、初期の作品も初めて見て、初年時代から画家をめざすまでのあれこれを含めひまわりや糸杉のタッチなどが魅力的ぐらいの「ちょっと好き」の私でしたがさらに好きになりました。